令和３年度　森林環境譲与税の使途について

市町村名	事業区分	事業名	事業総額（千円）				事業内容	針広混交林化、広葉樹林化に関係する事業	実績																								
									森林整備関係									人材育成・担い手確保対策					普及啓発（イベント等）			公共施設等の木材利用				その他	(10)税導入の効果
									森林所有者への意向確認		間伐等実施面積			路網整備			その他	事業体等への助成		研修，講習、求人イベント等		その他	研修や普及啓発イベント等		その他	公共施設等の木材利用			その他		
			(A)+(B)	(A)うち森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）	(C)「(A)うち森林環境譲与税」のうち、令和４年度への繰越（千円）			森林経営管理法に基づく経営管理意向調査実施面積(ha)	アンケート等による意向確認実施面積(ha)	間伐（ha）	除伐（ha）	その他（作業種、実績値を記載）	林道・林業専用道の開設延長(m)	森林作業道の開設延長(m)	その他（作業種、実績値を記載）		事業体数	支援対象者数（人）	回数（回）	参加者数（人）		回数（回）	参加者・体験者数（人）		施設数	木材使用量(m3)	うち国産材(m3)			
南魚沼市	① 意向調査の準備作業、森林整備の準備作業	森林整備促進事業費（新潟県スマート林業連絡協議会負担金）	11,094	11,094	0	0	新潟県スマート林業推進協議会が行う航空レーザ計測及び森林資源解析業務委託について、市の負担金として支出	○																								【担当よりひとこと】 譲与税の活用により、 ・事業実施地域の既存の森林資源量の把握と情報が見える化されました。 ・森林施業を担う民間事業体の施業能力の現状把握と施業の効率化が図られました。 ・今後、森林基本計画を策定し、課題や資源の把握を行い、課題解決や今後の林業振興の市の基本的な方向性を広く市民へ示すことができます。 ・市産材を活用した製品を市民に周知する機会を設けることで、身近なところから森林資源活用と森林整備の重要さを伝えることができます。 【詳しい使い道】 ・航空レーザーにより森林資源の分布(広葉樹・針葉樹)を解析し、伐期の適正な把握が可能となりました。今後の森林整備のサイクルを効率よく進めることが可能となります。 残額は令和４年度の新潟県スマート林業連絡協議会で行う航空レーザー解析と、森林長期計画の策定に使用する基金としました。
	① 意向調査の準備作業、森林整備の準備作業	森林整備促進事業費（南魚沼市森林基本計画策定業務委託）	6,765	6,765	0	0	南魚沼市森林基本計画策定業務委託費として支出	○																									
	① 意向調査の準備作業、森林整備の準備作業	森林整備促進事業費(森林GISシステム整備業務委託)	495	495	0	0	森林GISシステム整備業務委託費として支出	○																									
	⑯ その他（木材・普及啓発関係）	森林整備促進事業費(需用費)	150	150	0	0	事務用品(ファイル類) 木製イス４脚																										